地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170(代)

第15号
平成28年
11月30日発行

不足する介護人材の未来は語れないが明るい老後を実現したい!

介護人材不足は、募集・引き抜きでは到底解決できない

ここ数年、看護・介護職員の流動性(退職・入職)が高まり、運営する事業者にとっては質の低下等運営上の問題が深刻化しております。

「○○敬老園の介護福祉士の○○○さん、○○介護事業者から引き抜きの勧誘がありました」、「○○さんにもあったようです」。結果、目先の好条件を餌に退職して行く職員も出てきました。

「背には腹は替えられないよ。引き抜きをするしかない」と、嘆く同業者が増えました。他の事業者から引き抜きをやったら、質の低下を招くだけで利用者の安心・安全は確保できません。また、退職して、給与の高い他の企業からの誘いもあり行く人も増えました。

介護の現場は、毎日継続してサービス提供して行くための戦場と化しています。

各自治体は、地域の介護事業者と連携を密にとり計画を作成すべき

特別養護老人ホーム等新規開設で、人材確保の見通しのないまま新設に踏み切る法人・事業者が多いことも大きな問題となっております。人材が確保できないため稼働しない複数のユニットの施設が増え、経営の圧迫に繋がっております。

余剰人員を抱えて開設する法人は皆無で、募集か引き抜きをする以外に開設・稼働への道は無く、実態は自治体の計画数値を大きく割り込んだ稼働となっている状況です。公募・選定する自治体は、当事者として人材確保・養成に責任を持つ対応が何より求められます。

当法人も、県内各地で約200の事業を展開し、職員1,200人体制で事業運営しておりますが、継続して行くことの難しさも感じております。当法人で運営する介護福祉士養成施設「上田福祉敬愛学院」(1学年30人)の生徒数も年々減少し、1学年10人の学生確保にも苦労をしている現状です。厳しい経営環境の中で、学費の免除等一人でも多く介護人材確保に努力はしておりますが、一法人の努力ではどうにもなりません。

2025年団塊の世代が75歳になる頃、介護の人材不足は更に深刻となり、国の発表では約38万人(充足率85.1%)。長野県は8,391人(81.9%)と不足すると見込まれています。

将来亘り、利用者の安心・安全を第一に!

社会福祉法人制度改革、社会保障費削減毎年5,000億円(2016～2018年:3ヶ月計画)、過去2回の介護保険改定(実質マイナス改定)等、厳しい環境の中にあっても当法人は必ずや確たる人材確保・養成をして、地域に根差した活動を通して安心・安全を提供して参ります。

理事長 斎藤 俊明



敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

- 敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。
- 敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。
- 敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。

【こうしゃ敬老園デイサービスセンター】

リハビリと癒し

こうしゃ敬老園
デイサービスセンター
11/1(木)
増築オープン
しました!

リハビリならZutto
こうしゃ敬老園デイサービス!!

平成25年5月に開設してから3年半が経ちました。こうしゃ敬老園デイサービスは『リハビリ』と『癒し』をテーマに創られました。

このような4つの「癒し」と四季折々の空間を感じてほしいとの職員の願いが込められています。4つの中で今回はリハビリに重点を置き「zutto出来る」を目標に機能訓練室の増築をしました。「ずっと出来る」はご利用者様の一番の希望でありそれを支えるのがこうしゃ敬老園デイサービスでありたいと私たち職員の一番の願いです。

1 温泉活用
温泉でゆっくり
体を温めて心も体も
癒されてほしい。

2 リハビリ
作業療法士・理学療法士による個別機能訓練により生活意欲増進・体力や筋力の向上・維持ができ、自分らしい在宅生活を送れるように支援したい。

3 薪ストーブ
寒い冬に薪ストーブの暖かさを感じてもらい、穏やかな炎に心癒されてほしい。

4 井戸の池
夏は冷たく冬は暖かい暮らしに優しい自然を活用した池には、イワナや鯉などが放流され自然の恵みを実感して心を癒してほしい。







こうしゃ敬老園
デイサービスセンター

11/1(木) 増築オープン しました!

こうしゃ敬老園デイサービスの楽しいイベント!!

こうしゃ敬老園デイサービスでは、毎月様々な楽しいイベントを行っております。季節に合わせた行事を考え、少しでも楽しいと思える時間を提供したいという職員の気持ちから開設当初より実施しております。

最近のイベントでは8月には納涼祭を行い、庭に屋台を並べ焼きそば・ラーメン・カレー・焼きもろこし・豚汁・かき氷など食べたいものを召し上がっていただきました。他に金魚すくいやくじ引きなど夏祭りに欠かせない出店も人気がありました。職員での出し物は、3組に分かれて、スコップ三味線やおばけの仮装・最後は職員全員で「祭り」を盛大に踊りました。中には涙を流されて喜んでくださるご利用者様もいらっしゃり、職員も感激しました。

9月は敬老祭を行い、傘寿・米寿・喜寿のお祝いを一人ずつ行いました。職員の出し物では「うらしま太郎」の劇を披露し、うらしま太郎が言い残したという「鶴は千年亀は万年」ということわざにちなみ、皆様に元気で長生きしてください。と職員全員で挨拶させていただきました。

10月は1日かけて運動会を行い、ご利用者様は赤・白に分かれ、職員も赤・白に分かれて点数を競いました。ラジオ体操から始まり応援合戦・大玉送り・玉入れ・職員での二人三脚リレー・組体操などで会場は大盛況。昼食は重箱におにぎりや卵焼き・ウインナーなどの運動会弁当を思い出していただけるように工夫しました。

ご利用者様も職員も「楽しい」を共感し、心に残るようなイベントをこれからも続けていきたいと考えています。



一所で一緒 チーム敬老園

今回は、敬老園で仕事と子育てを両立している職員を紹介いたします。

No.1 特別養護老人ホームすわべ敬老園
宮沢介護支援専門員



朝の様子
2人のお子さんと一緒に出勤。
お子さんを送迎バスに乗せお見送り。
お子さんは敬老園が運営する
認定こども園キッズうえだみなみへ
そして宮沢さんはすわべ敬老園へ。

仕事と家事の両立のコツは?

両立できているかは自信がないです(笑)。けど、夫や両親といった家族の協力があったり、土日祝日も安心して預けられるキッズの受入体制に助けられています。



息抜きの仕方を教えてください。

週1回のバスケットボールですね。現在、市内の社会人チームに所属しています。あとお菓子作りもときどき。子供が喜ぶんです。

敬老園に入職して良かったと思うことは?

やはり子育てをしながらでも無理なく勤められることですかね。法人からのサポートもしっかりしていて安心です。それに福利厚生も魅力的だと思います。

これからの目標を教えて下さい。

現在の目標はすわべ敬老園が地域に馴染み、入居者様が自分らしく過ごせる環境を作り上げていくことです。また敬老園には、在宅・施設サービス等様々な事業所がある中で、たくさんの経験を積み、利用者・ご家族・職員から信頼されるスタッフになりたい。そう思っています。

私たちは多種多様な職種がそれぞれの役割を果たすことで利用してくださる方に「敬老園があって良かった」と思っていただけるようハツラツと毎日を過ごしています。

お問い合わせ・詳しい内容・応募はこちら

県内各地に、200を超える事業を展開しております。ご利用者年間延約150万人、職員約1200人

社会福祉法人
敬老園

[本部]〒386-0027 上田市常磐城2256-1
E-mail jinji@keiroen.or.jp

■法人本部 総務部人事課【担当／後藤・山口】

0120 FreeDial **0120-70-1651** 8:30~17:30



避けては通れない自然災害への備え

9月20日(火)台風16号の接近による大雨により県内各地で避難勧告や避難準備情報が出されました。日が暮れるにつれて雨足が強くなる中で脳裏を横切ったのは、8月に岩手県岩泉町で起きたグループホームの入居者が亡くなる災害でした。

敬老園が運営するにしうち敬老園グループホームは、土砂災害警戒区域内にあります。「入居者の安全が第一」と入居者9名の自主避難を決めました。にしうち敬老園の近くには避難所となる小学校や公民館もありますが避難先として選択したのは、敬老園が運営する特別養護老人ホームしおがわ敬老園でした。環境の変化による入居者の不安を充分に考慮しながら一夜を過ごし、翌日には無事にグループホームへ帰ることができました。

今回の台風16号に伴う対応を通じて感じることは「緊急時の避難先は、介護体制が整っている敬老園の施設が良い」ということです。敬老園は、東日本大震災以降に防災に関する意識をより一層高めるために各施設の防火管理者を中心に防災委員会を組織し、密な情報交換や防災訓練の計画的実施をしています。また、飲料水、お米、トイレットペーパーの備蓄(3日間分)や情報一斉配信システムの導入し、毎月第3金曜日を敬老園防災の日と定め情報共有訓練を実施しています。

想定外の災害が起きても利用者の安心・安全を約束しなければなりません。災害に強い法人を目指し、今後も努力してまいります。

■防災に関する取り組みが報道されました

【新聞】

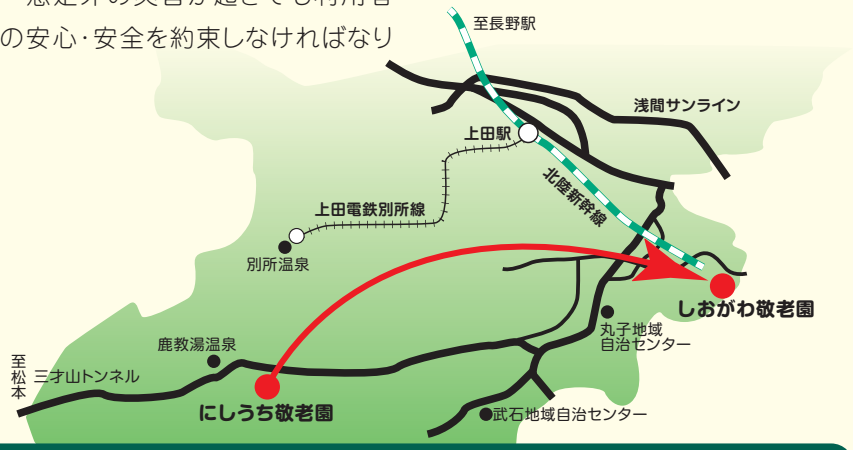
◎平成28年9月21日(水)
……信濃毎日新聞

◎平成28年9月22日(木)
……信州民報

【テレビ】

◎平成28年9月1日(木)
…SBC信越放送 ニュースワイド

◎平成28年9月21日(水)
…NBS長野放送 みんなのニュース



自治体(会)との連携が不可欠

上田市塩田地区にあります特別養護老人ホームしものごう敬老園。四季の移り変りを感じられる田園風景が広がり近くには上田交通別所線下之郷駅があり施設から丸窓電車を眺めることができるのどかな場所です。しかし、8月18日(木)の猛烈な大雨により数百メートル離れた池が氾濫したため床上浸水の被害を受けました。自治体等と連携をとりながら地域の皆さんと一緒に安心して生活ができる環境になるようにしていきたいと思います。



敬老園
Photo News







松本の真ん中「うつくしがはら温泉敬老園」

うつくしがはら温泉敬老園

平成19年より開設したうつくしがはら温泉敬老園も、今年で10年になります。たくさんの方の笑顔で支えられてまいりました。

本館・北棟・西棟と3つの建物に分かれており、91部屋の個室がある施設です。館内には、美ヶ原温泉の湯がひかれており、本館2階の大浴場、北棟1階の個浴、本館1階の足湯で温まれます。

建物の西方面には、北アルプスを望み、乗鞍岳・常念岳・有明富士などが連なり、冬場の朝焼けはとても綺麗です。近くには、かりがねサッカー場もでき、Jリーグ松本山雅チームの練習場となっております。

また、入居されている方の暮らしでは、敷地内に花壇を作り花いっぱいにしてくださる方、ベランダにトマトの苗を植え育てている方、居室内で趣味の手芸を行なっている方、談話室で大正琴の練習をされている方、近所を散歩されている方…、皆様その方らしく生活されております。

うつくしがはら温泉敬老園の複合施設の中では、入居されている方、デイサービス・ショートステイのご利用者様がいらっしゃいますが、全体で納涼祭・運動会・年末の餅つき大会など行なっております。運動会では、2年連続でデイサービスのご利用者様チームが優勝しておりますが、今年はどうでしょうか?

これからも地域の皆様と一緒に歩んでいきたいと思っております。



常に新しい挑戦を

しおがわ敬老園

しおがわ敬老園は、平成11年の開設から、この塩川地区の緑豊かで穏やかな空気の中、地域の皆様と少しずつ交流を深め、お力をお借りしながら、今日まで福祉サービスを行って参りました。現在、地域の皆様によるボランティア活動、そして塩川保育園、塩川小学校、丸子北中学校の皆様による定期的な交流を毎年、毎月のように行うことができる環境にあり、地域の皆様との温かいつながりを日々感じ、過ごしております。

お世話になっております皆様に感謝の気持ちをお伝えしたい、利用者様の活躍を地域の皆様に知っていただきたいという思いから今年、しおがわ敬老園では地域交流の新たな試みとして「丸子地区作品展」を10月10日～20日までの間開催、また「地域交流会」を10月14日に実施致しました。「丸子地区作品展」は丸子地区内の法人事業所から、利用者様の作成した作品群を展示、地域の皆様に審査して頂いた中で、表彰まで実施する試みで、今年初めての開催となりました。また「地域交流会」は、地域2か所の自治会、同2か所の老人会、普段施設運営に協力して頂いているボランティアの方々、第三者委員の方を施設にお招きし、日頃の施設運営への協力に対して感謝をお示しし、特養へお住いの利用者とのより深い交流を持って頂く趣旨の元、開催の運びとなりました。

会には理事長も参加し、自治会長及び老人会長の方々も楽しいひと時を過ごして頂く事が出来ました。また参加した利用者様も話が弾み、地域の方々との交流が図れたご様子でした。

しおがわ敬老園では、長年培ってきた地域との絆を大切にしつつ、新たな挑戦も試みながら、これからも地域福祉の一端を担い、社会貢献に努めていきたいと考えています。









秋に食べたい食べ物ランキングで堂々1位は秋刀魚（さんま）！

～うえだ敬老園栄養課～

秋の季節には何回か秋刀魚を使った料理をお出しますが、うえだ敬老園栄養課では、先日180尾の生さんまを炭火焼きにして昼食にお出ししました。

ご利用者さんは焼ける様子を見ながら、煙の香りも楽しみ、最高の笑顔で旬の味覚を味わいました。「来年もおいしい秋刀魚が食べられるように、また1年長生きしなくちゃ。」と話されていました。

うえだ敬老園栄養課　管理栄養士
金沢 和子





おいしいお弁当やオードブルで笑顔を演出！

～ バリアフリーレストラン楽食 ～

楽食では、お弁当やオードブルなどご予算や用途に応じた料理の配達も受け賜っております。最近では、「秋の行楽シーズンを迎えお弁当を持って上田城址に紅葉を観にいきたいので800円のお弁当を20個用意してほしい。」「地区の会議の後に公民館で慰労会をしたいので3，000円のオードブルを5個用意してほしい。」といったご注文をいただいております。

料理の内容もお客様のご希望に添って相談させていただきます。おいしいねと笑顔がこぼれる時間を過ごしていただけることを願いながら、食品衛生管理に気を付けてご用意いたします。ご利用を心からお待ちしております！



楽食 がくしょく

安心して楽しくおいしい食事をお届けします！

バリアフリーレストラン楽食

上田市常磐城2256-1　敬老園本部1階

■ご予約・お問い合わせ先

☎0268-28-0141（おいしい）

